

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 早期警戒スコアを用いた患者容態把握ダッシュボードのユーザビリティ評価
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 麻酔科 （研究責任者）高木 俊一
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 8 （西暦 2026）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日の期間に集中治療室に入室された方
＜研究の目的＞ 早期警戒スコアを用いた患者容態把握ダッシュボードは、日本光電工業株式会社が開発したシステムであり、集中治療室に勤務する医療従事者の診断業務のサポートを目的としている。このシステムは入床患者のバイタルサインや早期警戒スコア、患者に接続されている治療器の情報を収集し、可視化することで患者の状態を統合的にモニタリングすることが可能である。これにより、集中治療室の病床全体及び患者毎での状況把握、質の高い情報共有を促進し、急性期医療における医療の質向上が期待できる。本研究では、日本光電工業株式会社から機器の提供を受け、集中治療室に勤務する医療従事者を対象として、アンケート調査を実施し、本システムの機能及び操作性（ユーザビリティ）の検証を行う。
＜研究の方法＞ 日本光電工業株式会社から機器の提供を受け、集中治療室に勤務する医療従事者を対象として、アンケート調査を実施し、本システムの機能及び操作性（ユーザビリティ）の検証を行う。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 医療従事者に対するアンケート結果
＜外部への試料・情報の提供の方法＞ 該当なし
＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞ 該当なし
＜外国にある者に試料・情報を提供する場合＞ 該当なし
＜研究を実施する機関組織＞ 日本大学医学部附属板橋病院 集中治療室

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

麻酔科

氏名：高木 俊一

電話：03-3972-8111 内線：（医局）3284

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方